

【事例発表②】

働き続けられる職場づくり

公益財団法人 日産厚生会玉川病院

看護部長 嘉茂すみ代



病院概要(2015年7月1日現在) 病床数 389床

DPC対象病院

職員数 : 700人 うち 看護職員 : 380人

看護体制 : 一般病床 7対1

回復期リハビリセンター ・ 地域包括ケア病棟 13対1

平均在院日数 : 15.7日

よく出る 意見

1. いままでのシフトに慣れているので
変更されたくない
2. 夜勤短縮について
 - ①夜勤時間の短縮分が半日勤務になると、
出勤回数が増える
 - ②子供を預ける回数が増える
 - ③夜勤時間短縮で、夜勤手当が減額する

夜勤・交代制勤務導入までの経過

1) 2008年～ポートフォリオの導入

2) 2010年～クリニカル・

キャリアラダーの設定

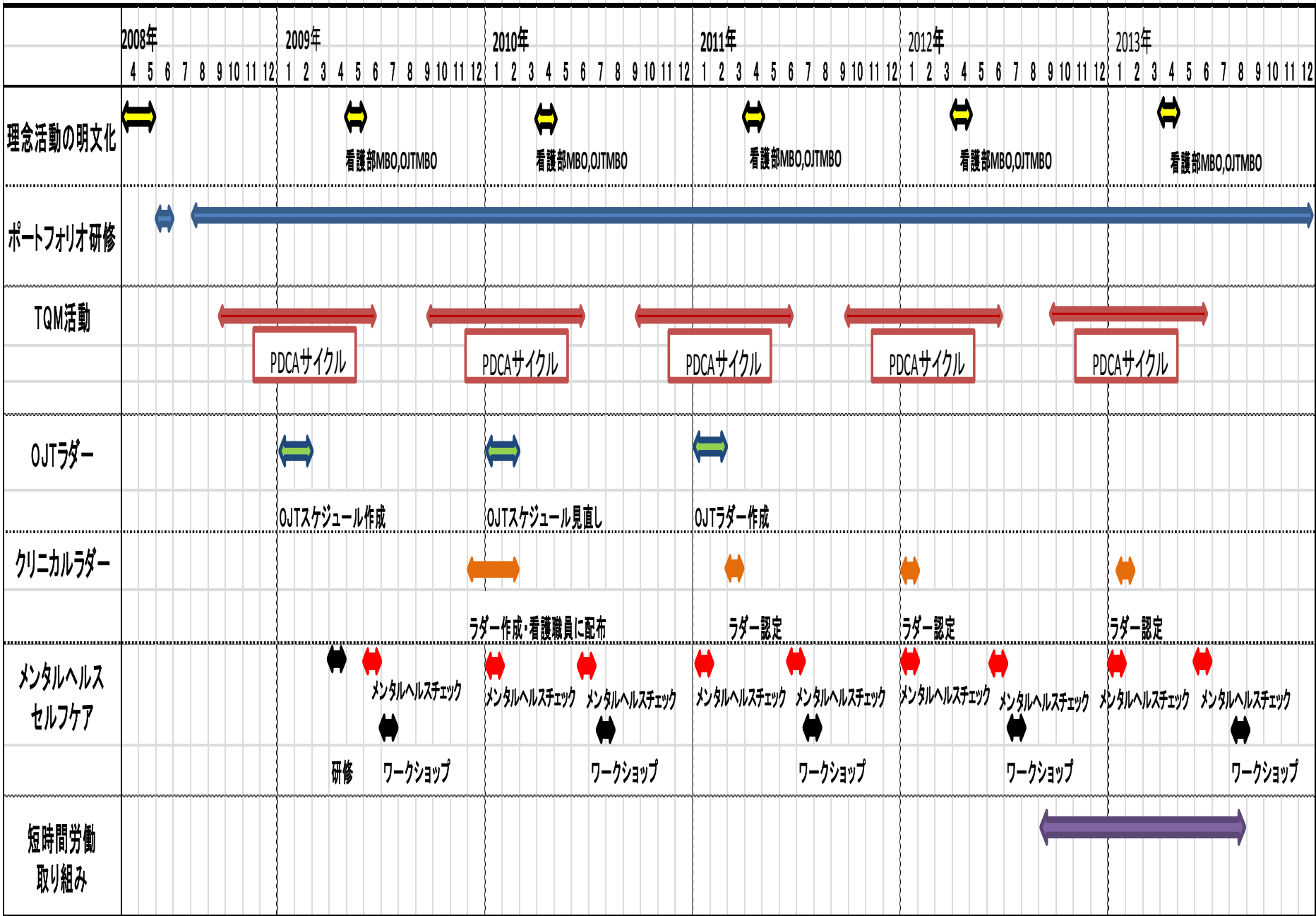
3) 2011年～BSCの導入

4) 2013年～①「看護の質」の充実

②勤務表自動作成

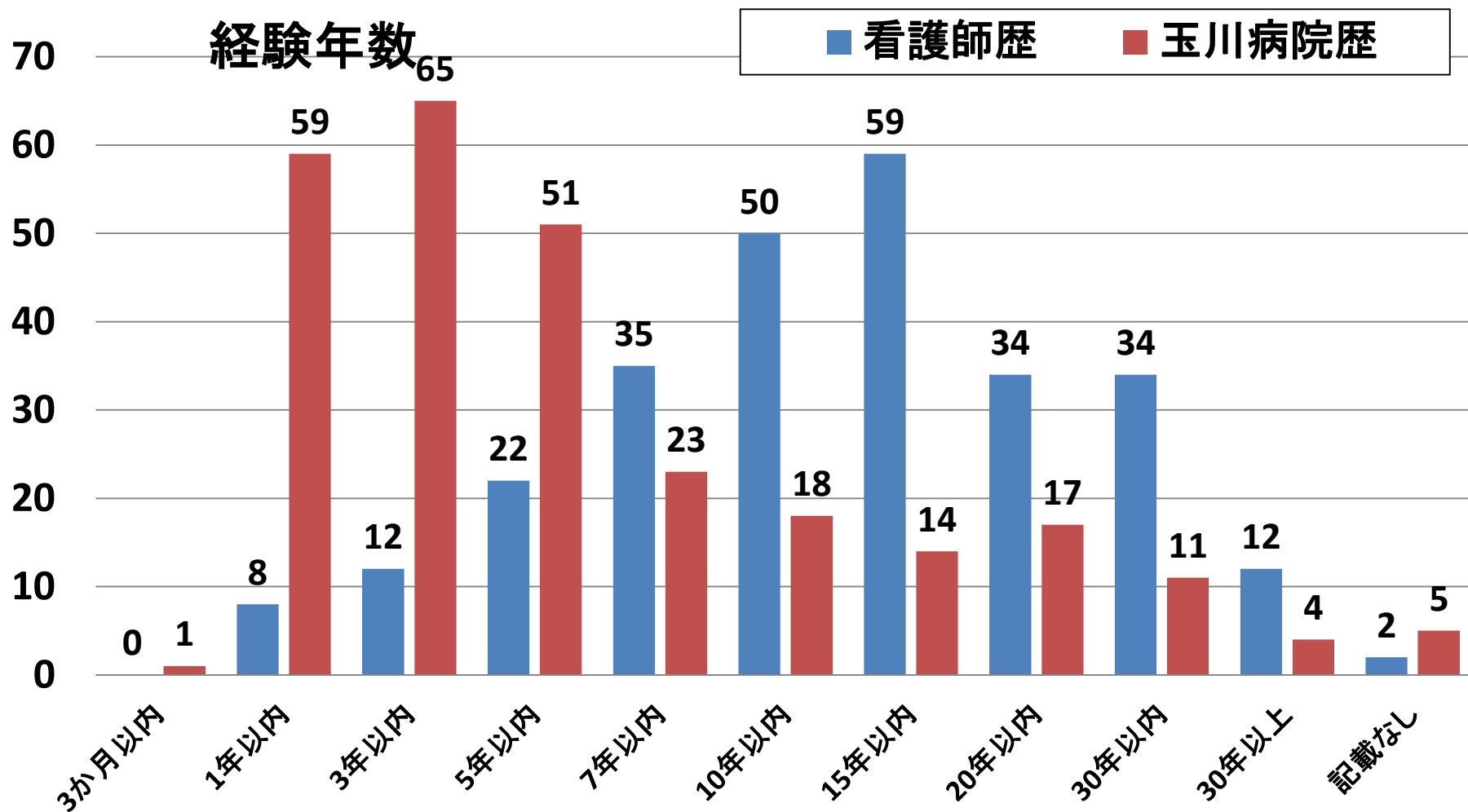
システム導入

日産厚生会玉川病院看護部のあゆみ



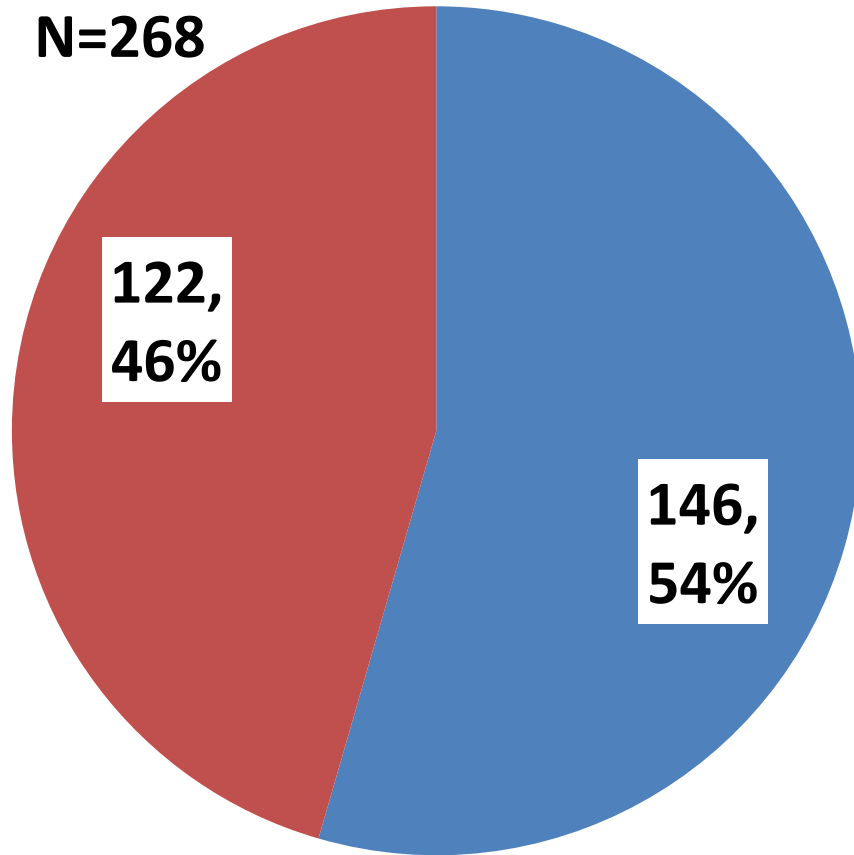
看護部アンケート調査

2013年12月実施(N=268 回収率 91%)



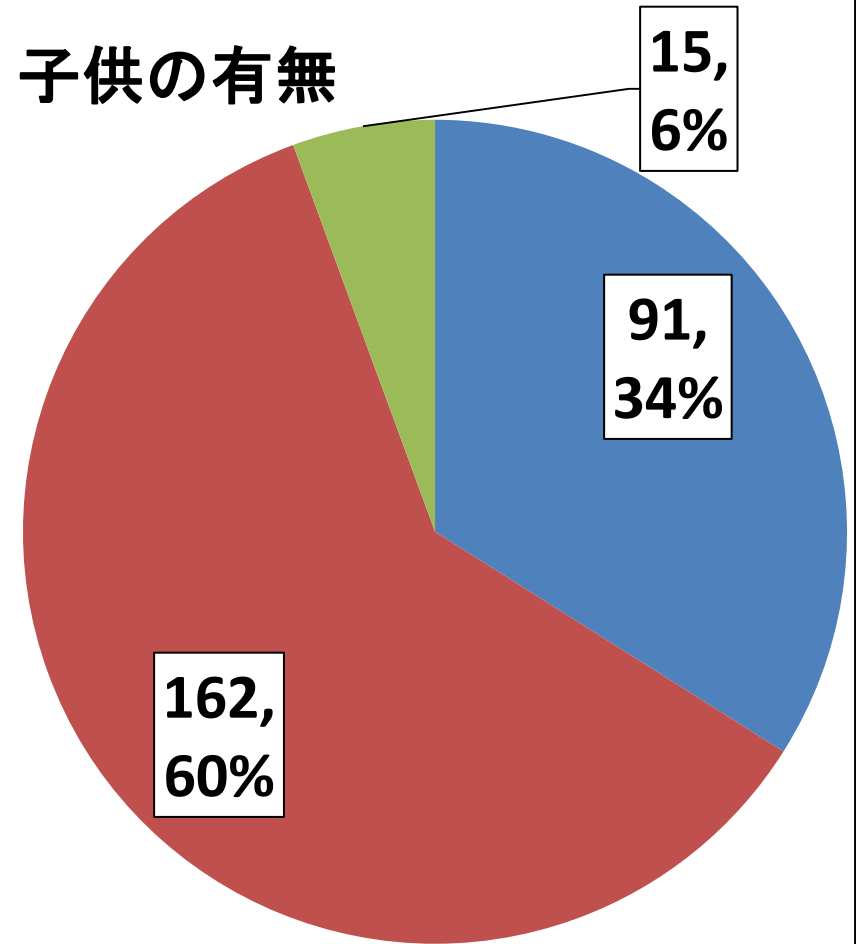
婚姻状況

N=268



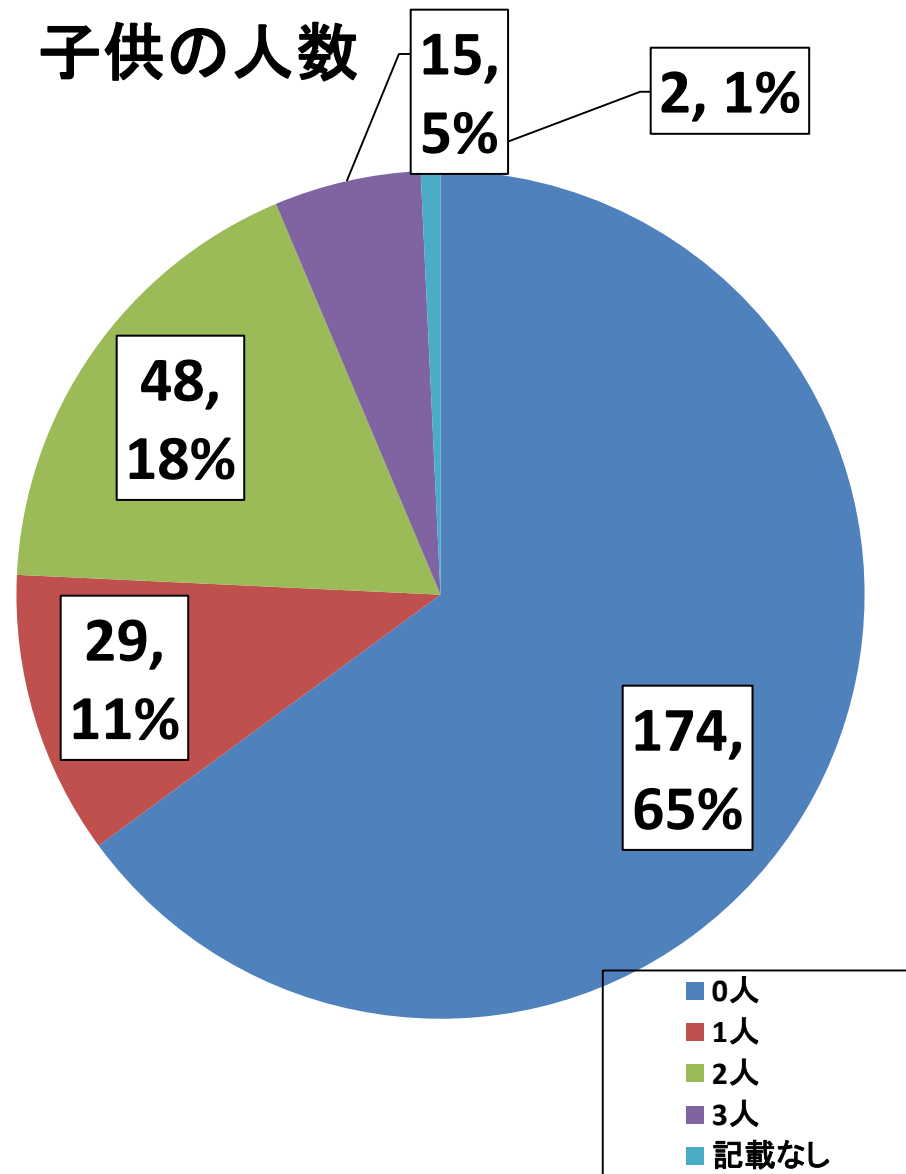
■ 未婚
■ 既婚

子供の有無

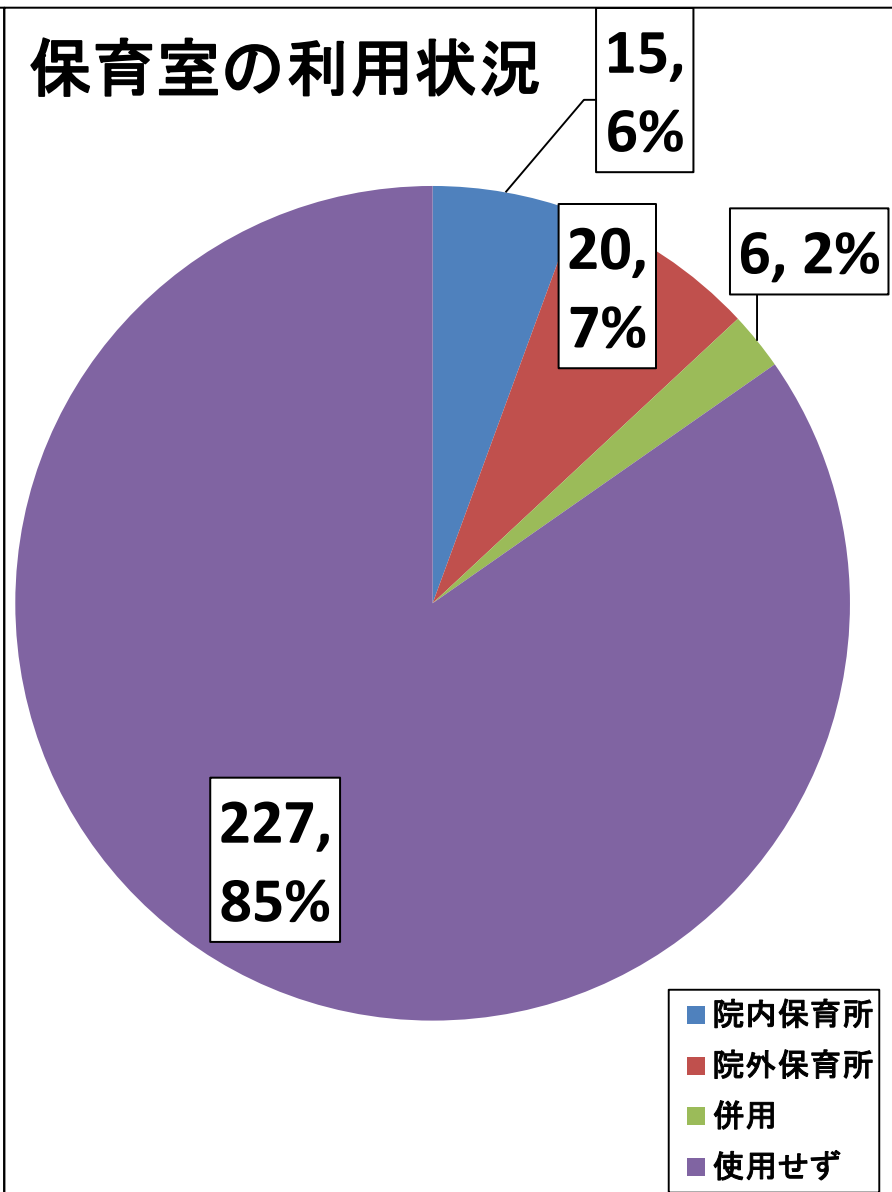


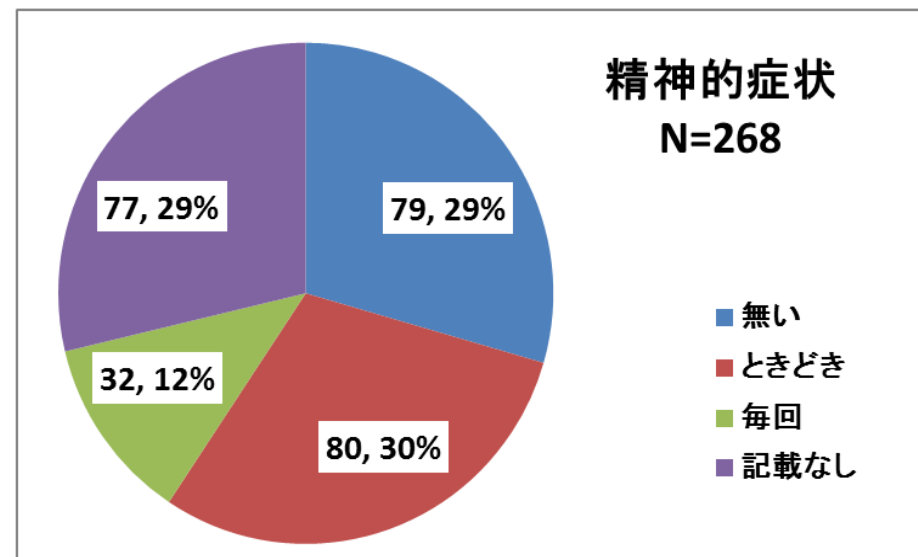
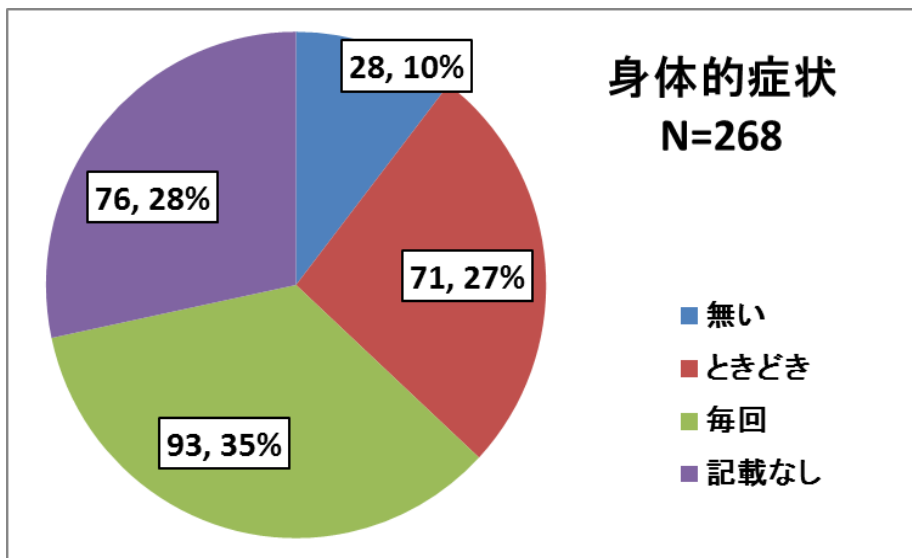
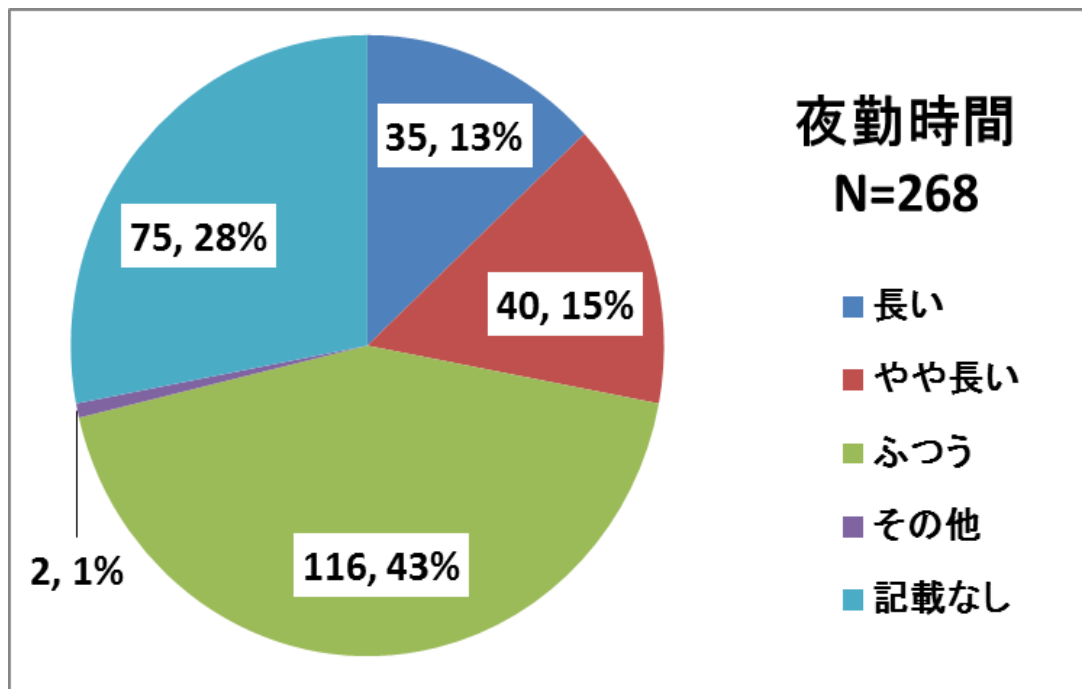
■ いる
■ いない
■ 記載なし

子供の人数



保育室の利用状況





12時間夜勤についてどう思うか

- 他勤務(日勤)との調整が取れるなら良い
- 今の夜勤時間が長いので、12時間だとどのような感覚か体験してみたい
- 経験してみたいが、リズムの変化に対応できるか不安もある
- やってみなくちゃわからない
- 16時間労働は集中力が落ち、事故の元だと思う
- 身体的には楽になるのではないかと思う
- 短時間を導入してもらいたい

- 休みが減る気がする
- こどもと一緒に居る時間が減る
- 2交代に慣れている
- 子持ちには厳しい勤務体制と思う(夜勤前に休めない)
- 夜勤手当が減る
- 手当の方が体より大事
- シフトが複雑になるのは嫌だ

重点施策

1. 看護アシスタントの役割拡大
2. 看護単位毎に、
使用するモデル勤務区分の作成
3. 看護形態をPNSへの移行
4. 保育室との調整
5. 仮眠室の運用の見直し
6. 人事制度

回復期リハビリテーション病棟 スタッフ 内訳

* 科 長	1名
* 看護師	19名
* 介護福祉士	6名
* ヘルパー1・2級	6名
* クラーク	1名

日勤者数

看護師	7~8 名
介護福祉士・ヘルパー	2~3 名

早出

介護福祉士・ヘルパー	2名
------------	----

遅出

介護福祉士・ヘルパー	2名
------------	----

夜勤者数

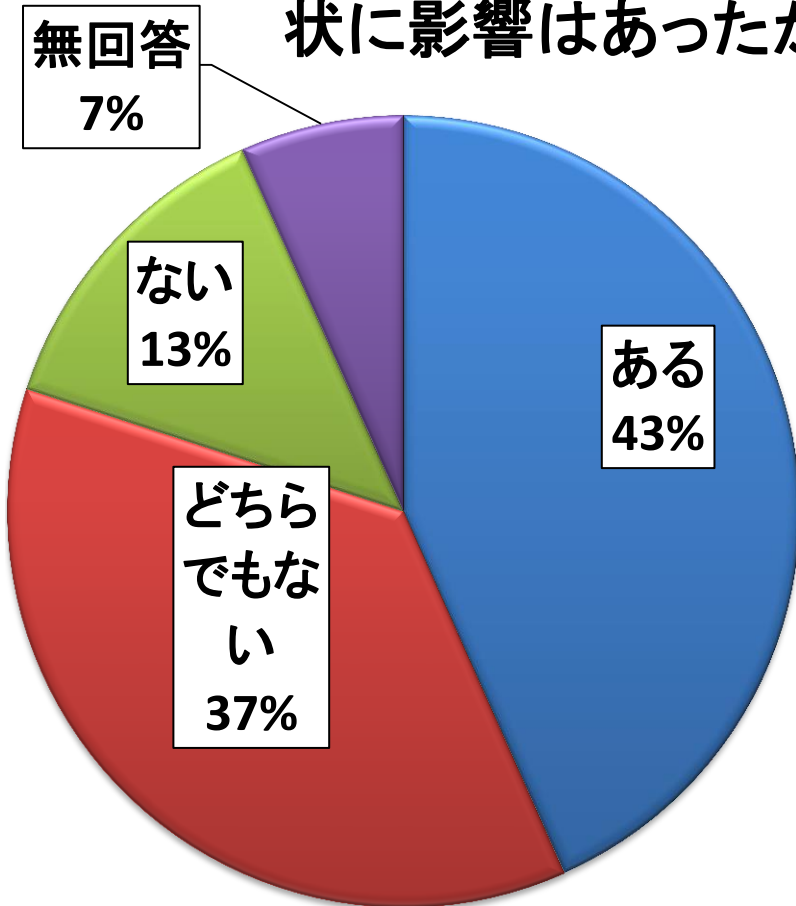
看護師	2名
介護福祉士・ヘルパー	1名

シフトの種類	人員	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:15	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00
日勤	1	日勤 8:45 ~17:15 科長含まず 8:30(8:00)																								
	2																									
	3																									
	4																									
	5																									
	6																									
前6時間	7	前6時間勤務 8:45 ~14:45 6:00																								
	8																									
	9																									
種出	10	遅出勤務 12:30 ~21:00 8:30(8:00)																								
	11																									
後6時間	12	後6時間勤務 14:45 ~20:45 6:00																								
	13																									
	14																									
夜勤	15	夜勤 20:45 ~9:15 12:30(12:00)																								
	16																									
	17																									

試行後

アンケート結果(回収率 100%、N= 32)

16時間夜勤と比較して、身体的・精神的症状に影響はあったか

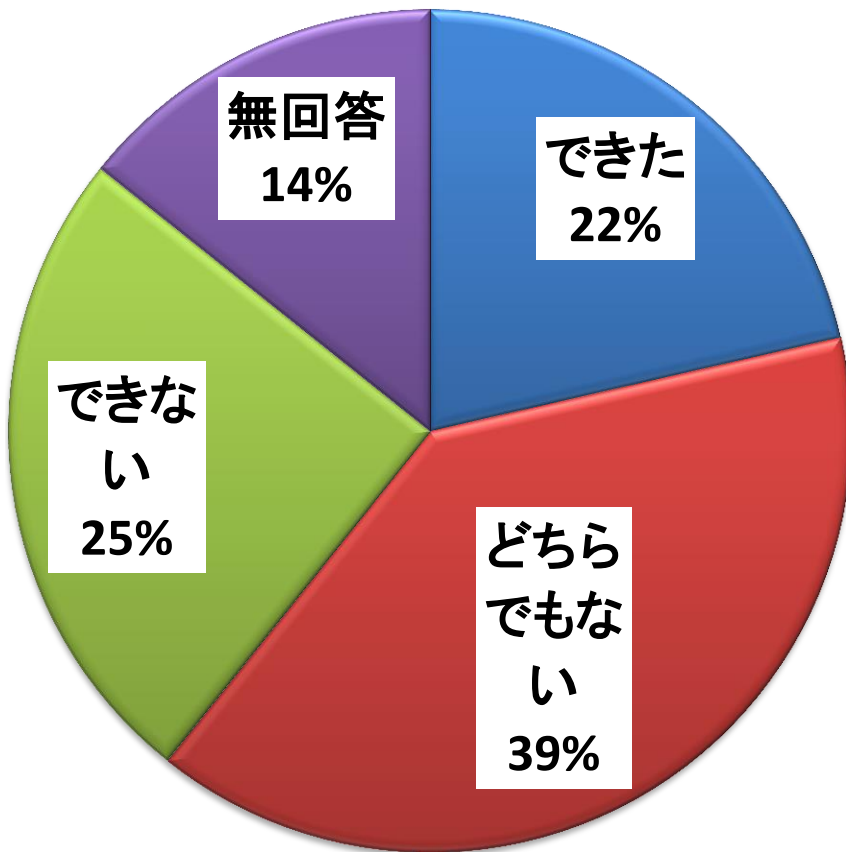


ある 43%

- * 精神的にも身体的にも楽だった
- * 夜勤明けの身体が軽い
- * 眠気が少ない
- * 夜勤の疲れが少ない
- * 夜勤の負担がへった
- * 身体が楽になった
- * 苦痛が少なかった
- * イライラしない
- * 子供たちもこの体制を賛成してくれた

- * 遅出が多いと、夜の生活になるので、バランスが崩れる
- * 日勤・遅出が業務的に忙しくなり、疲れた

シュミレーション前の不安・疑問の解決はできましたか



ある 43%

- * 業務内容の整理ができると思えた
- * 日勤から遅出、遅出から夜勤の引き継ぎが思ったよりもスムーズにできた
- * 開始当初はとまどうこともあったが、徐々に不安がなくなった
- * 日勤から遅出まで、何とか人手不足にならずに済んだ

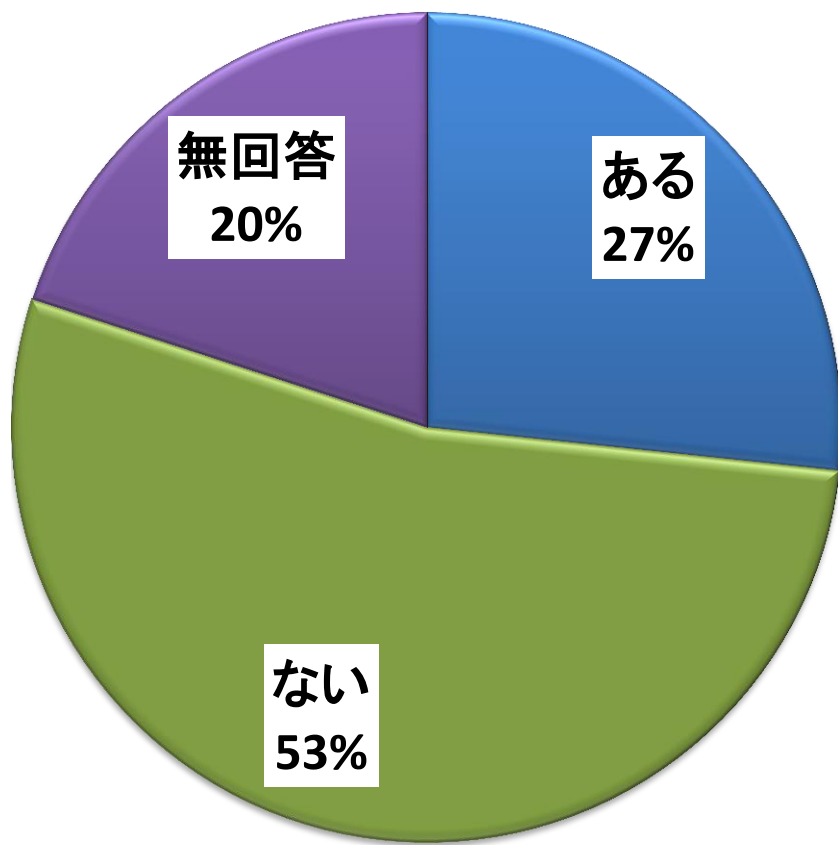
どちらでもない 39%

- * 手当ての提示がない
- * 風呂介助が大変になった
- * 業務改善できることもあった
- * メリット・デメリットがある
- * もっとスムーズにできていると思っている

できない 25%

- * 人手不足
- * 定時では帰れなかった

具体的な弊害はありましたか



ある 27%

- * 1日あたり最低限必要なギリギリの人員か、それ以下の状況にあり、インシデントアクシデントが起こらないかヒヤヒヤだった
- * 時間内で業務を終わらせることは難しい
- * ゴールデンタイムに人がいなくて困った
- * 申し送りが無くなった分、アクシデントが増えた
- * コール対応が増え、記録・その他のケアが不十分になりがちだった
- * 夜勤までの時間の過ごし方にとまどい、サイクルが狂ってしんどく感じた
- * 勤務時間の把握
- * マンパワー不足
- * 全ての業務が遅出に係ってくる気がした
- * 残業が多かった
- * 業務量の増加

各勤務帯で感じた問題点

日勤

- * 早出が帰った後、遅出が来るまでの間、少ない人数で業務をしないとイケない
- * コール対応に支障がでる
- * 入浴介助が大変疲れる
- * 業務の負担感が増えた
- * 人数不足のため、業務が終わらない
- * 時間内に業務が終わらない
- * 患者カンファレンスや評価をチームで行う時間の余裕がなかった
- * ケアが薄くなってしまった
- * 日勤ばかりのスタッフに業務負担がいく
- * 日勤と遅出業務の内容の調整
- * 休憩時間は1時間ほしい
- * 患者と関わる時間がなくなった
- * 看護師と介護者との業務整理
- * 人手が少ない分、業務の整理が必要

夜勤

- * きちんと送りを受けていないので、最低限の情報を得たい
- * 業務開始までに40人以上のカルテをみるのは無理
- * 業務が9:00には終了しない
- * 夜勤そのものは楽になったが、夜勤前の過ごし方に迷った

- * 疲れが少ない
- * 夕食介助業務がなくなったので、負担が減った
- * 遅番が2名になり、20時からの勤務なので、負担軽減になった
- * 勤務時間数が短く、精神的に楽だった
- * 精神的に楽だった

遅出

- * 人によって、いろいろなやり方があるので困った
- * 1日中、目まぐるしく流れるので、患者の関わりを持つ時間が少なくなった
- * 入浴介助者4名ついていると、自分のすべきことができない
- * 以前と変わらない
- * 1名体制から2名体制になったので、負担軽減になった
- * ミニカン、結果返し、入院など時間的に入ることができず、日勤者にしわ寄せが行く
- * 時間通りには帰れない
- * 勤務の中で、一番大変だった
- * 20:30の就業はおそい
- * アシスタントと看護師の勤務時間帯を同じにしなければいけないのか
- * ナースコール対応がメインの業務になってしまった
- * 夜勤との交代時間が中途半端と思う
- * 平日と土日では、業務内容に差がありすぎる
- * 21:30以降帰宅者にはタクシーを利用させてほしい
- * 夕方はバタバタしている
- * 夕方、RCCなどミーティングに出ると、その後すぐに夜勤業務にはいるので、記録が書けなかった
- * 忙しくても、9時間で帰れるという安心感
- * 1勤務に対して、食事の準備・配薬が1回であることがよい

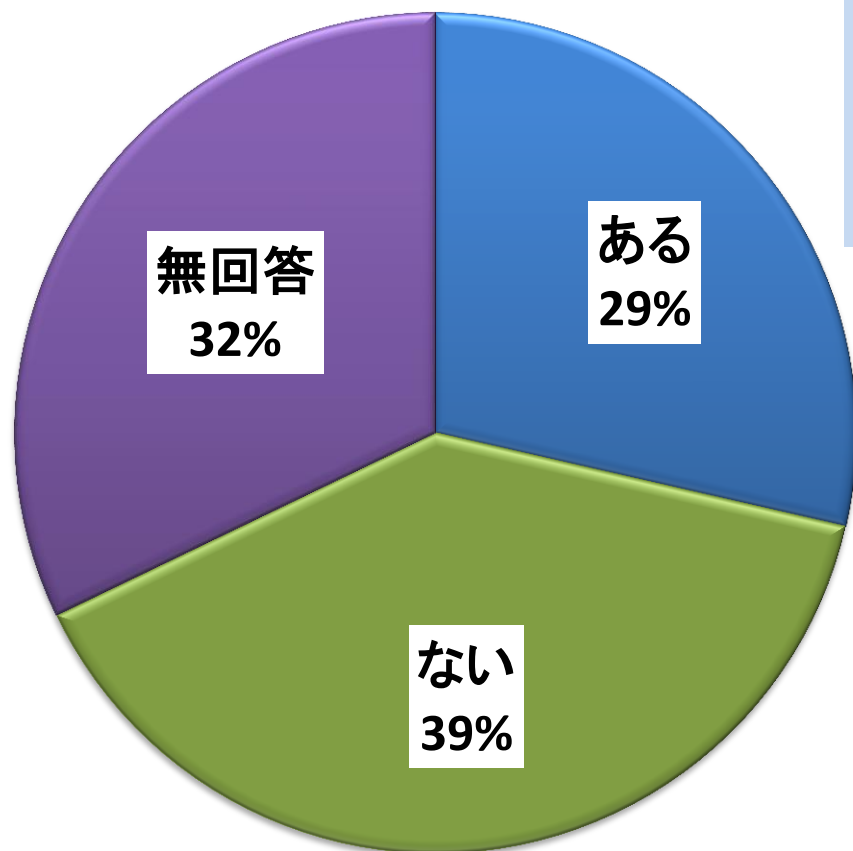
早出

- * 入浴介助が大変疲れる
- * 以前と変わらない
- * 日勤者が少なく、引き継ぎが上手くできない

長日勤

- * 休憩がしっかり取れればよいが、取れないときは、身体的につらい

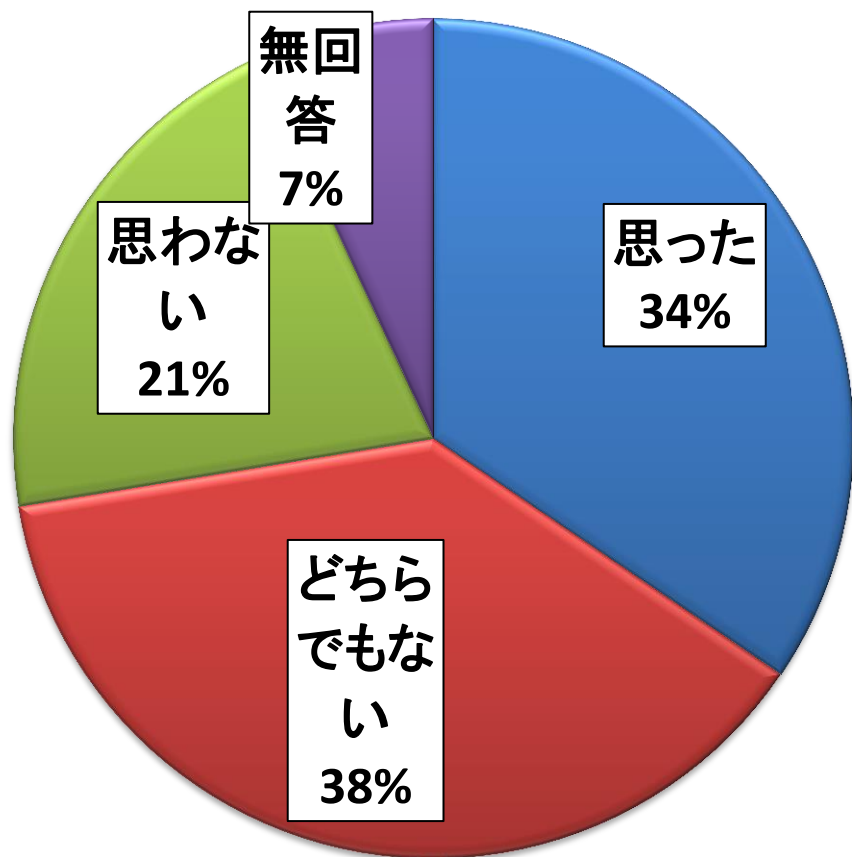
遅出・長日勤終了後、帰宅時困ったことはあったか



ある 29%

- *帰りが遅い
- *夜道が暗くてかなり怖かった
- *遅出の記録が残ってしまった
- *バスがないので、タクシーを利用した
- *時間がなさ過ぎて、家事ができない
- *夕食・寝る時間が遅くなる

新勤務体制でやっていけると思いましたか



思った 34%

- * 身体が楽だった
- * 夜勤が短いのが良い
- * 人員が確保されているのであれば、出来る

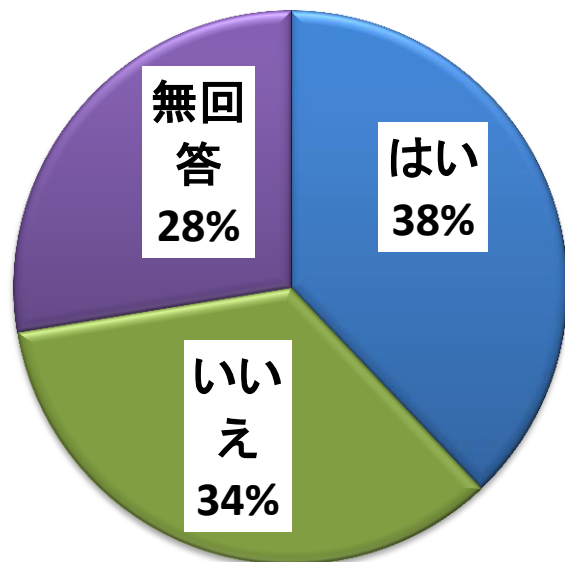
どちらでもない 38%

- * いいところや大変なところは、それぞれあるから
- * 十分対応できるだけの人数が必要
- * 夜勤は楽だが、その分、他の勤務帯に負担がいく
- * 業務調整が整うのであればよい
- * 患者とゆっくり向き合えない

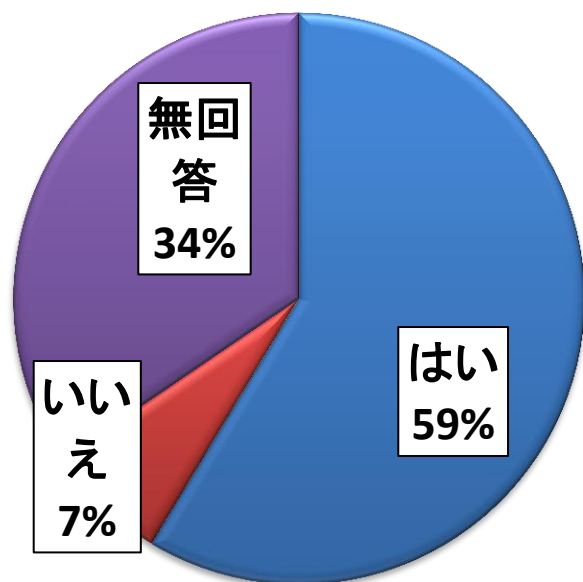
思わない 21%

- * 朝、8:30で早くなるのに、休憩は45分。それなのに早く帰れるわけでもない
- * 身体を慣らしてゆくのが大変
- * 回復期リハ病棟には合わないような気がした

超過勤務は業務改善 をすることで改善できる



業務整理はまだまだ必要か



はい 59%

- * 遅出業務
- * 各勤務の業務内容
- * 書類、伝票、手書きのもの
- * 日勤業務
- * 他の勤務帯に依頼する業務
- * 増員
- * 電カル導入でまた変わるかもしれない
- * 入院時間帯
- * 入浴・環境整備・西洋・アメニティ・おむつの補充

試行後 感想

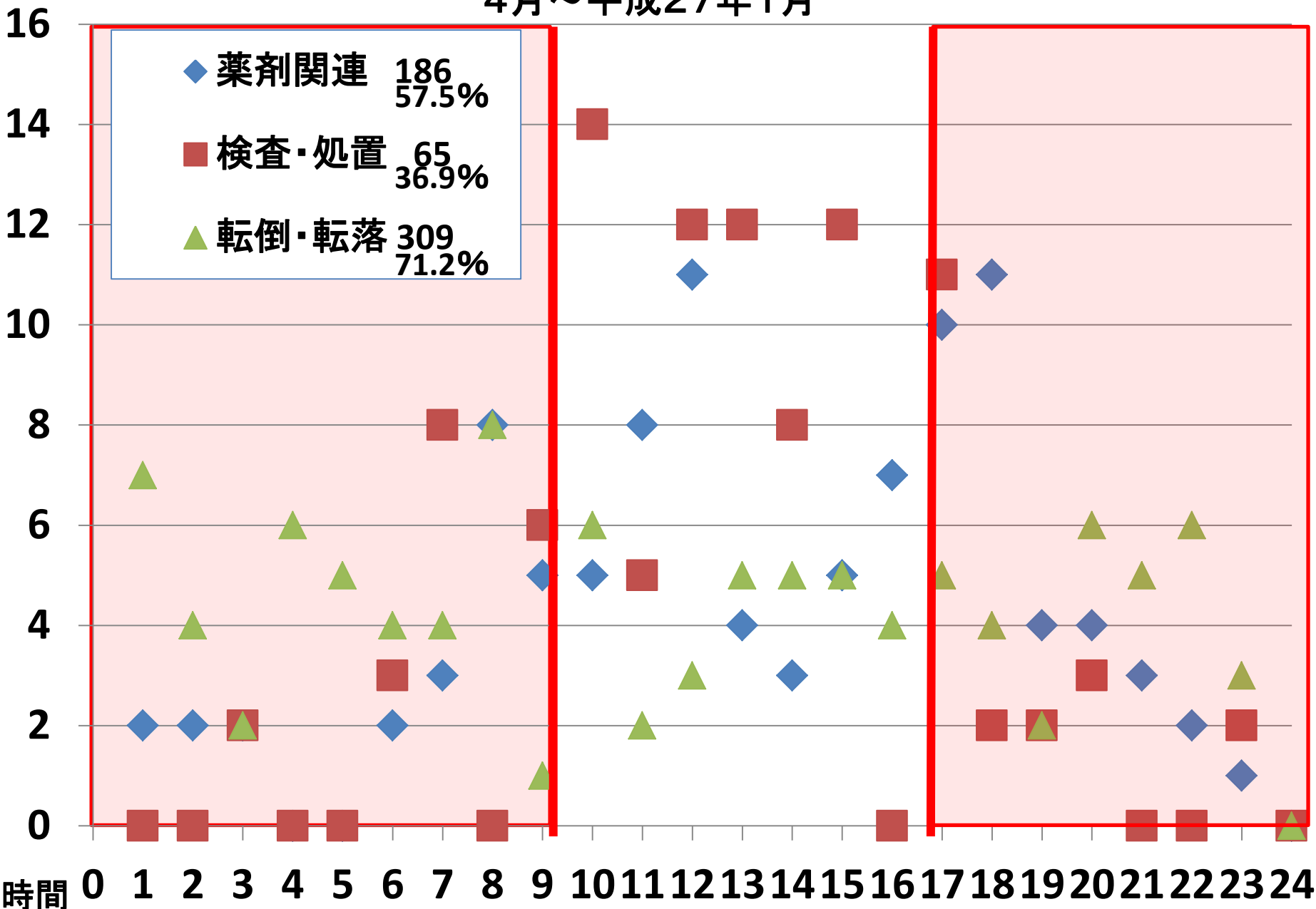
- * 人手不足に新体制は難しい
- * 勤務帯を選択できるが、均等な業務量にはならないので不公平感がある
- * 1人でも休みが出ると、大変なので、絶対休めない感が強く、プレッシャーだった
- * 休憩45分はつらかった(1時間休憩がよい)
- * 業務内容や金銭面で不公平感をなくして、みんなが納得して新体制に出来るとよい
- * 情報収集の時間がとられているが、やはり早めに来てしまう
- * 具体的なメリットがみあたらない

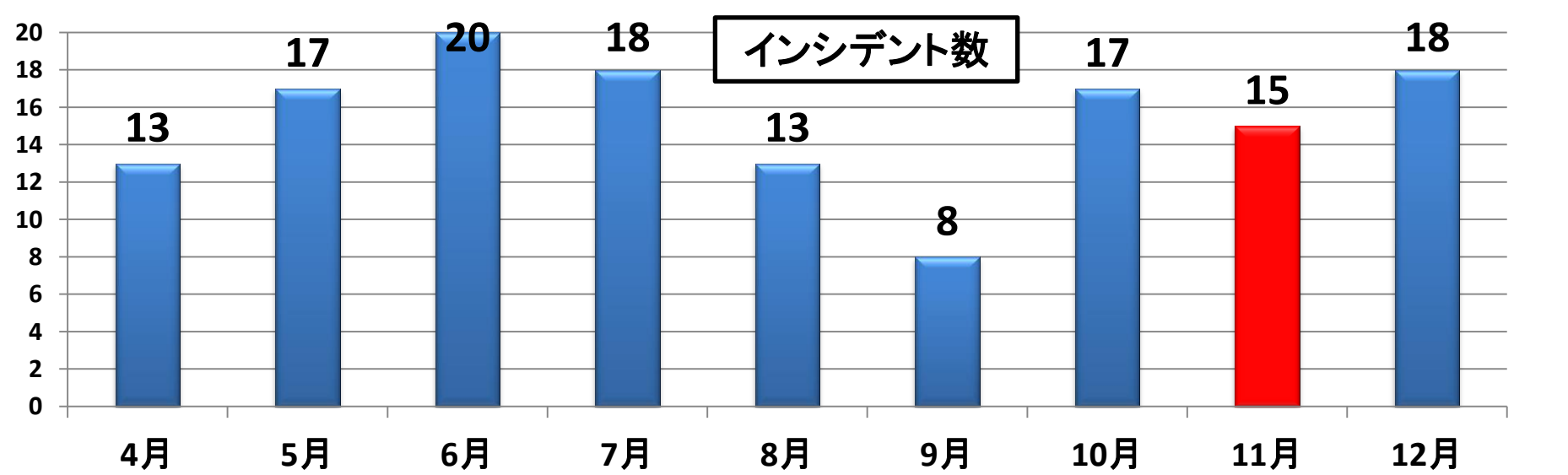
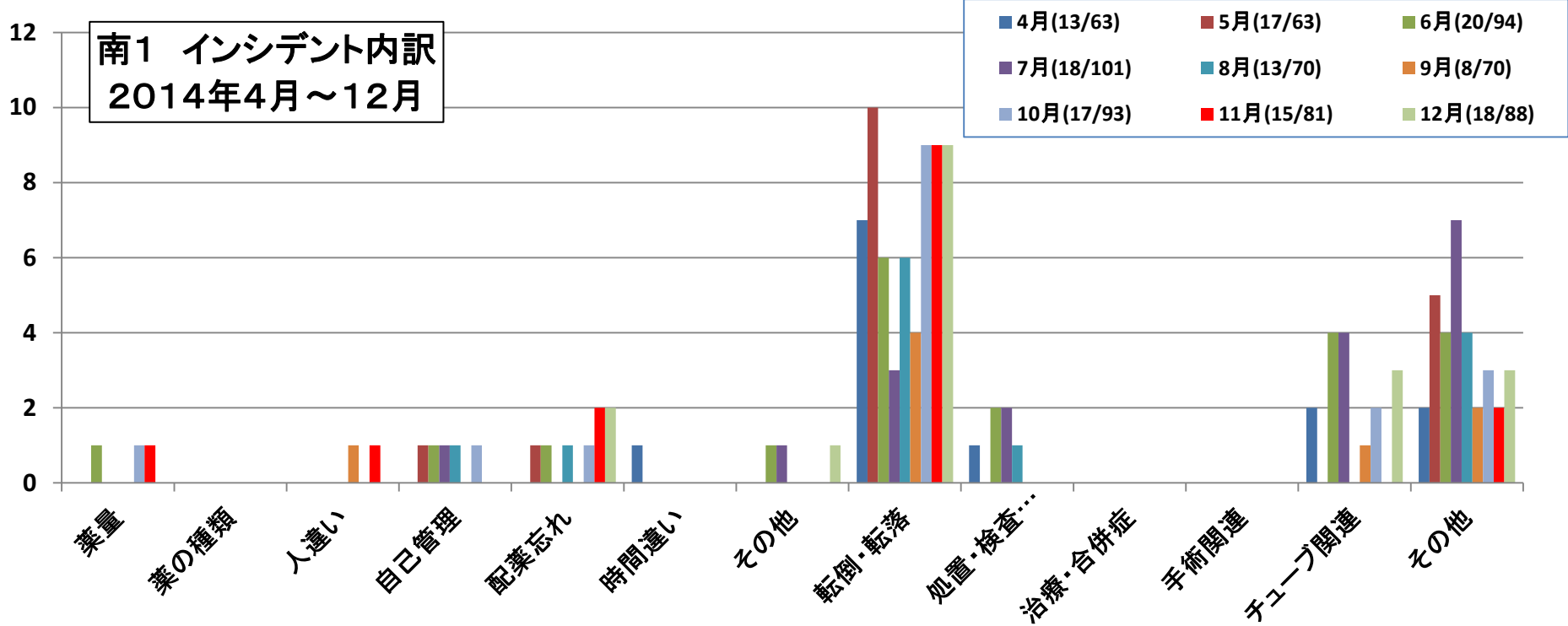
平成26年度インシデント発生時間

4月～平成27年1月

%

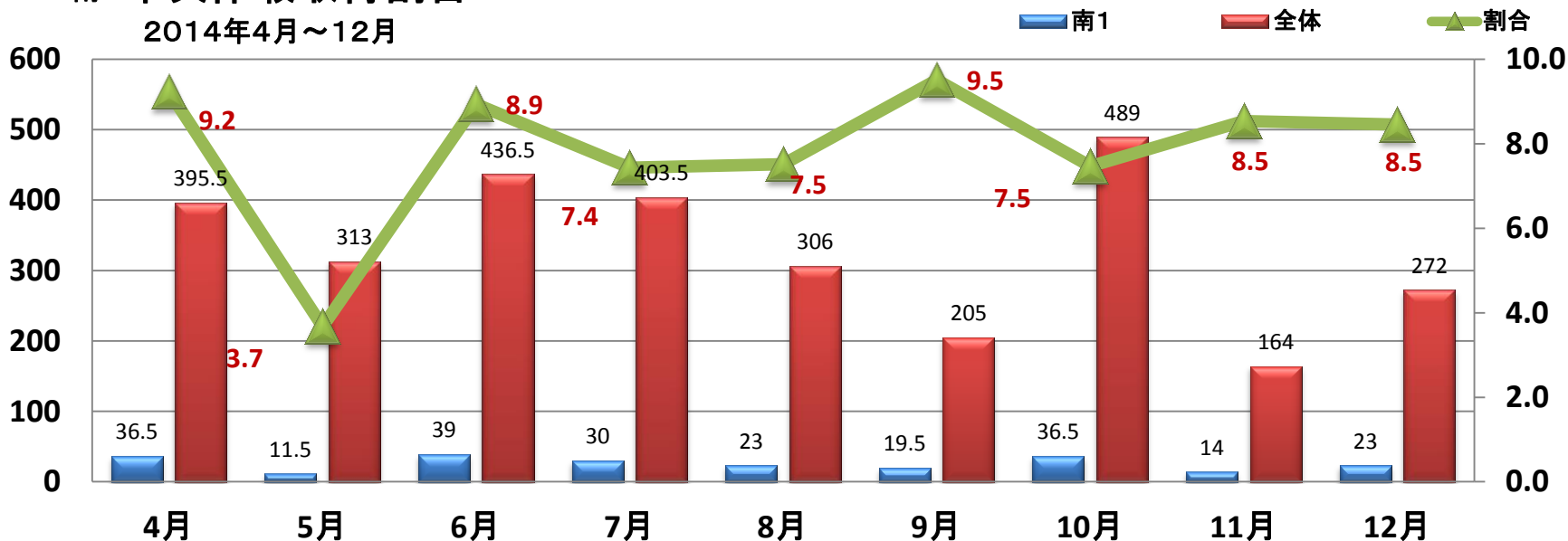
- ◆ 薬剤関連 186
57.5%
- 検査・処置 65
36.9%
- ▲ 転倒・転落 309
71.2%



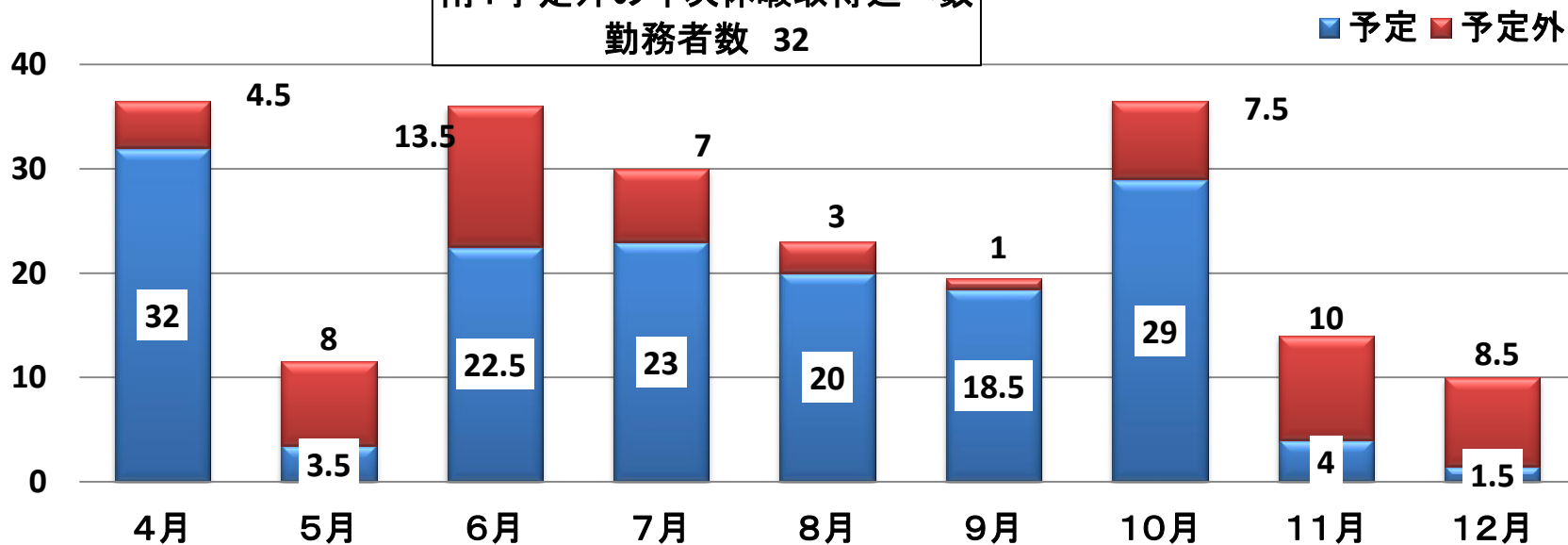


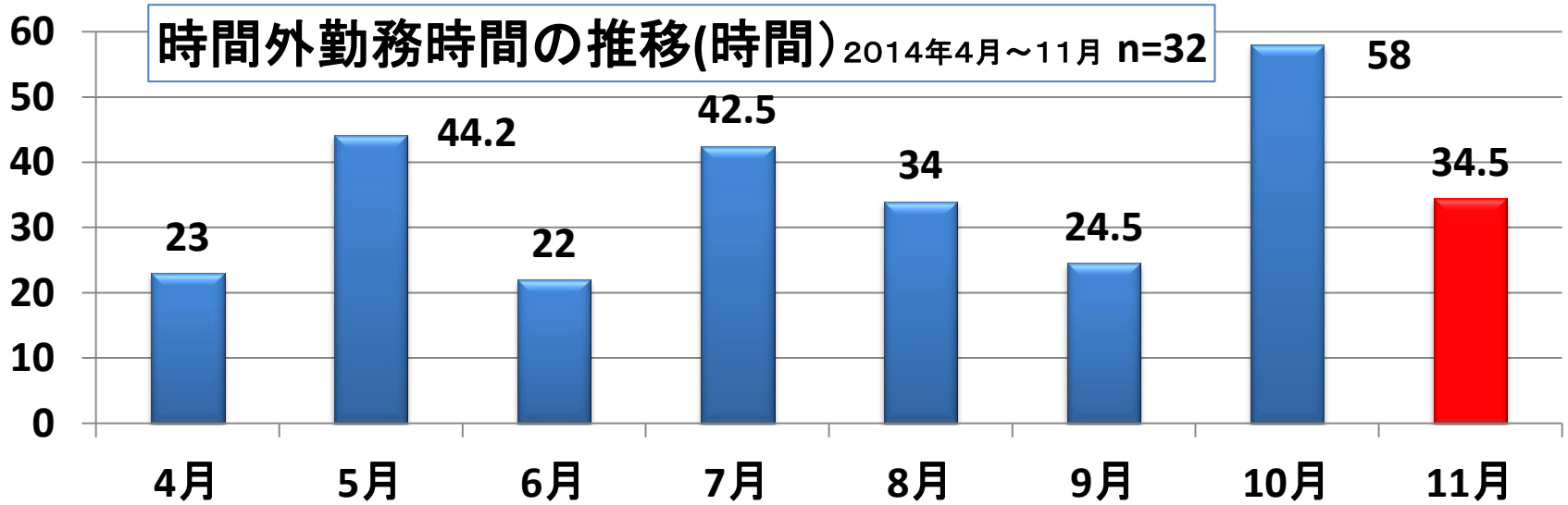
南1年次休暇取得割合

2014年4月～12月

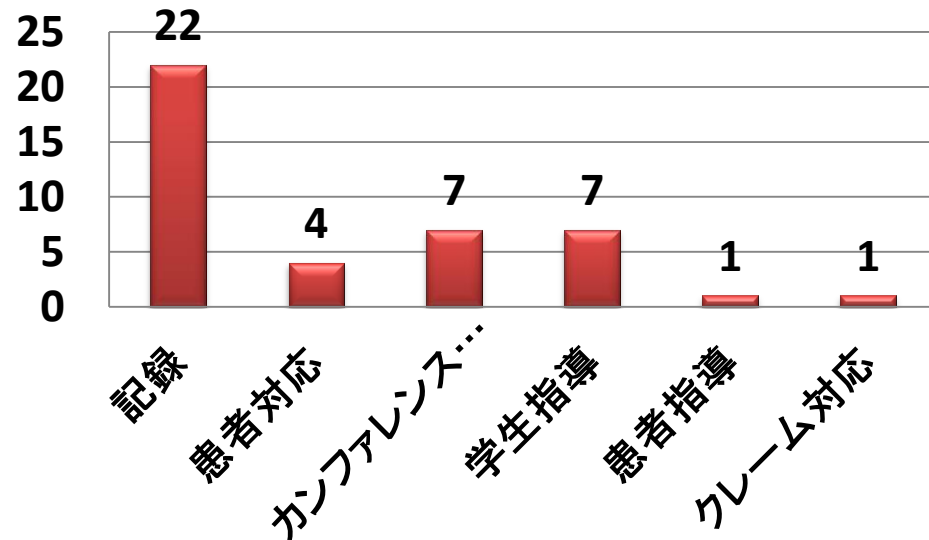


南1 予定外の年次休暇取得延べ数
勤務者数 32

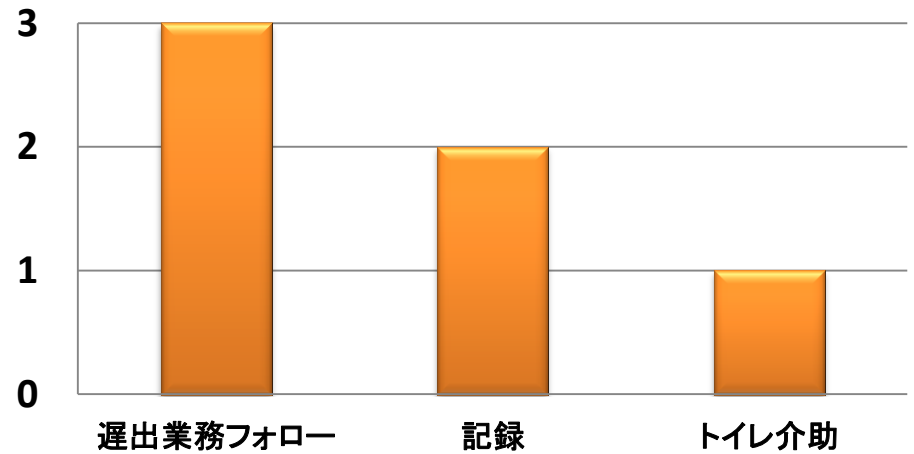




看護師時間外内訳 n=42(延べ件数)



アシスタント時間外内訳 n=6(延べ件数)



手当の比較

10月	11月
72000	71800
58800	82000
0	4000
0	0
72000	73000
58800	65800
58800	78000
30400	2000
72000	62800
56800	72000
45600	64800
85200	56800
74000	82000
58800	54600
43600	65800
0	0
70000	32200
60800	68800
54800	56800
36500	39000
15000	17000
46000	37000
34500	37000
36000	29000
46000	48500
11000	23000
37500	38500
35500	36000
44000	41500
35500	38000
0	0
33000	46000
1382900	1423700

変則3交代勤務

区分	勤務時間			休憩時間	拘束時間
日勤	8:30	~	17:15	45分	8時間45分
長日勤	8:30	~	20:30	60分(45分+15分)	12時間
遅出A	11:00	~	19:45	45分	8時間45分
遅出B	11:45	~	20:30	45分	8時間45分
遅出C	12:15	~	21:00	45分	8時間45分
半日	8:30	~	12:30	なし	4時間
夜勤	20:00	~	9:00	120分(休憩60分、休息60分)	13時間

区分	現行	手当	看護師案		
長日勤	なし	3000円			
遅出A	なし	2000円			
遅出B	なし	2000円			
遅出C	3500円	2000円			
夜勤	13200円	12200円			
			勤務時間	休憩時間	拘束時間
常勤夜勤専従	13200円	13200円	16時間勤務のまま	120分(休憩90分、休息30分)	15時間30分
非常勤夜勤専従	13200円	13200円	16時間勤務のまま	120分(休憩90分、休息30分)	15時間30分
外来看護師夜勤	13200円	13200円	16時間勤務のまま	120分(休憩90分、休息30分)	15時間30分

区分	現行	手当	アシスタント案		
長日勤	無し	2000円			
遅出A	1000円	1000円			
遅出B	1000円	1000円			
夜勤	7500円	7000円			

11月は、10月に比して、祭日2日*(NR8人+補助者5人)=52000円+である
 52000-40800=12000円マイナスの人件費と言える

今後の予定

1. シフトの合意と手当て
2. 師長会・主任会で再説明し、
該当病棟に説明する
3. 地域包括ケア病棟で、試行
4. 一般病棟(1病棟)で試行
5. 計 3病棟で実施する